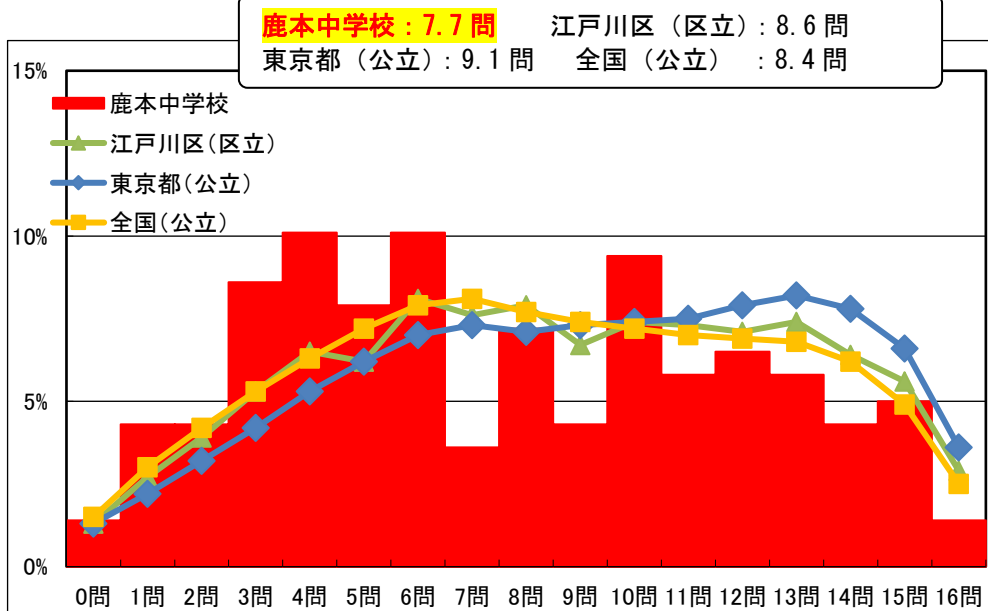


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 鹿本中学校

正答数分布

平均正答数

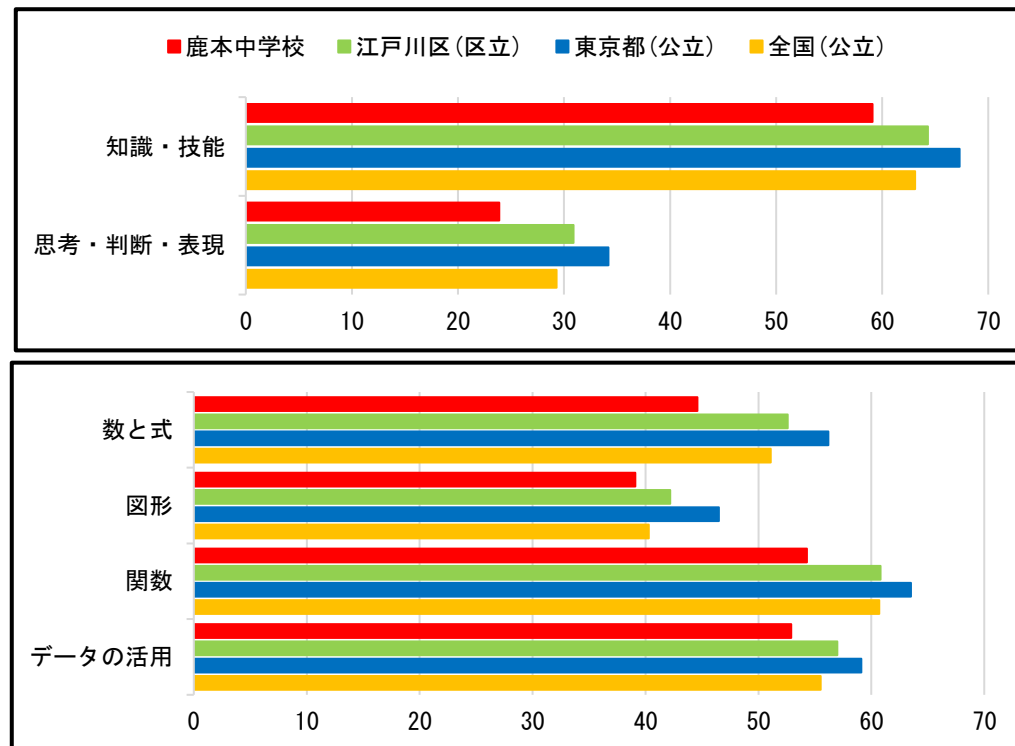


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
鹿本中学校	16.5	26.0	20.9	36.6
江戸川区(区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都(公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国(公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

鹿本中学校	48%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	9ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

指導改善のポイント・「数と式」においては、比較的平均正答率が高い「関数」と関連付けて授業で扱うなど、授業改善に努める。習熟度別少人数を実施し、一人一人に応じた指導を心掛けて授業展開を行う。具体的には、演習が早く終わった生徒には別の課題を準備する、対話的な活動を増やし学び合いを取り入れて取り残される生徒をなくす。